



新型コロナウイルスが蔓延しているせいで
春の高校野球がなくなりオリンピックも延期
このままでは感染が広がり医療は崩壊し
新型コロナウイルスの思うつぼ
日本はウイルス対策の特別措置法に基づき緊急事態宣言を発令
GWが終わる5月6日までを期限としましたが
5月31日まで延期すると発表しました
現在、新型コロナウイルスの感染者は緩やかながらも減少傾向にあります
私たちの生活は一変しました
楽しいはずの大型連休のはずが娯楽施設は閉店
ショッピングモールも閉店
飲食店はかろうじて営業しているものの
コロナウイルスが怖くて足が遠のきます
いったい日本はどうなっていくのでしょうか…!!

～5月掲載内容～

- *コロナウイルス
- *外国人実習生
- *特定技能外国人
- *国連における中国
- *台湾とWHO
- *台湾～21歳の学生のメッセージ
- *韓国
- *米国～WHOへの拠出金停止を宣言
- *中国マスク外交
- *中国の隠蔽
- *中国国内では…追悼式典
- *緊急拡大会議開催の建議書
- *まとめ

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

コロナウイルス

皆さん、連休は何かしら日頃のストレスを発散し充電できるはずが、折角の大型連休もマスクを手放せず、何かしらコロナウイルスに脅かされ楽しめなかったことでしょう。

5月6日までには収まらず5月末まで延長された緊急事態宣言、これには罰則規定がありません。緊急要請に協力できないパチンコ店や、陽性反応が出ているにも関わらず公共の場へ行く者、嘆かわしいを通り越して怒りさえ覚えます。

日本は中国のように強制されなければ出来ない国民ではありません。周囲の人に迷惑を掛けないというのが日本人の一番良いところの筈ですが…これを放棄した日本国民に成り下がってしまったのでしょうか!!

憲法には緊急事態条項がありませんが、これで国民の命が守られるのでしょうか? 個人を大切にすることも必要ですが、有事の際や緊急事態の際に果たして私権の制限をすることも必要ではないのでしょうか?

また、何をしても批判ばかりという野党やメディアは反省しなければなりません。立憲民主党などの野党は現在の憲法を改正しなくても出来るなどと何を悠長なことを言っているのか…朝日新聞は当初は緊急事態宣言までも反対だったのですから。

朝日新聞を検証してみましょう。

慰安婦強制連行説、南京虐殺説など日本を陥れる常軌を逸した報道がされてきましたが、本来メディアというのは公正で真実に基づき、国民を正しく導いていくことが要求されます。今回の新型コロナウイルス提起された問題は、万一時に国家が私権を制限できる強い権限を持たせることが国民を幸せに導くことではないのでしょうか? コロナを機会に憲法改正に持ち込まれないか心配している御仁、立憲民主党や朝日新聞などのメディアは大きな反省をしなければならないでしょう。心底反省し考えなければ将来の日本をダメにすることは間違いありません。

コロナウイルスの感染状況は次の通りです。

<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/coronavirus-chart-list/>

外国人実習生

今回、第80期の外国人実習生が来日しましたが、新型コロナウイルスの為に今回はベトナム、タイの一部の実習生しか来日出来ませんでした。

彼らは組合で約1ヶ月の講習を受けましたが、彼らにとっては一生の思い出、これからの生活に有意義なものとなるでしょう。



防災訓練(地震体験)



茶道体験

現在、実習生の入国は航空便の都合などにより出来ません。新型コロナウイルスのパンデミックが終わるまでお待ちください。

企業様による面接につきましてはテレビでの面接などを考えておりますので暫くお待ちください。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

特定技能外国人

3年間の実習が終了し特定の資格を持っている外国人を企業が雇い入れることができます。この場合の在留許可手続きなどは1年更新となり組合が行うこととなります。現在、航空便が欠航となっており日本への入国規制がありますが、特定技能外国人は条件が整った段階で入国させることができます。これに先立ち在留許可などの手続きは先行して出来ますので組合に連絡して下さい。

★組合員さまへのお知らせ★

マスクが必要な組合員様には多少残がございますので組合までご連絡ください。

国連における中国

武漢で新型コロナウイルスが発生したにも関わらず、これを逆手に取り政権の安定と中国を発展させている…まるで中国春秋時代の孫子兵法を地でいっているのが習近平です。

ところが、お見事とばかりの思惑通りにはいかないものですね。

国連では15の専門組織がありますが中国が長となり握っている重要な国連機関は

- ・国際連合工業開発機関 (UNIDO)
- ・国際電気通信連合 (ITU)
- ・国際民間航空機関 (ICAO)
- ・国際連合食糧農業機関 (FAO) の4つの機関ですが、その他にもあります。
- ・世界知的所有権機関(WIPO)次長
- ・国際通貨基金(IMF)局長、副専務理事
- ・世界貿易機関(WTO)事務局次長
- ・世界銀行(WB) 常務副総裁兼最高総務責任者
- ・世界保健機関(WHO)事務局次長補佐
- ・アジアインフラ投資銀行(AIIB)総裁
- ・国際オリンピック委員会(IOC)副会長
- ・世界気象機関(WMO)事務次長
- ・国際連合 国際連合経済社会局(UN)事務次長、事務次長補佐
- ・アジア開発銀行(ADB)副総裁

中国は上記のように国際組織の要職に食い込んでいるのです。

今問題になっている世界保健機関(WHO)を見てみると、中国に付度しなければならないエチオピア人のテドロス事務局長の補佐に中国人の任明輝がいます。

WHOへの拠出金を最大に出しているのは米国、次に英、独、日、カナダ、ノルウェー、この次に中国です。

公正な規則を履行しなければならない各機関であるべきなのに、中国は自国の外交官を国連の要職に就け、自国経済発展のツールとして国連を利用し一帯一路構想を拡大してきました。

数々のルールを破ってきた中国ですが国連では影響力を拡大しており、脅かしや圧力を受けている国も少なくありません。

平等な権利を持つ193カ国の加盟国、国連が中国に乗っ取られないように力をつけて欲しいものです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

台湾とWHO

台湾が中国大陸と近いに関わらず、中国武漢発の新型コロナウイルスの感染拡大は上手く抑制されています。中国湖北省武漢市に端を発した今回の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のなか、WHOはヒトからヒトへの感染について1月20日になってようやく公式に認めましたが、台湾の陳時中福利衛生部長(厚生労働相)も4月11日の記者会見で、台湾が昨年(2019年)12月31日の段階で既にWHOへ「中国武漢で特殊な肺炎が発症し、患者が隔離治療を受けている」との情報を伝達し警戒を呼び掛けていたことを公表しています。台湾ではこれ以降に入境時の検疫を強化、厳格な水際防疫を展開し死者6名、累計感染件数も393件に抑え4月14日には新たな感染確認件数をゼロに抑え込みました。

こうしたなか、台湾の陳健仁副総統も武漢での発生当初、情報を隠蔽したとされる中国とWHOの対応の遅れを問題視していました。更にはマスクなど医療用製品の不足が世界的に問題となっている中、台湾は自国でのマスク生産量を1500万枚に引き上げ日本などへのマスクの提供を始めるなどして貢献し、世界が台湾の存在感に注目しています。

一方、WHOのテドロス事務局長は4月8日の記者会見で台湾を名指しで各数ヵ月間「黒人やネグロ」などと呼ぶ人種的な中傷を受けたと主張しました。

また、台湾から人身攻撃を受けたと主張した事に関し「私は台湾人です、台湾人としてこのような悪意ある攻撃がテドロス氏に行われたことをこの上なく恥ずかしく感じます。台湾人として謝罪し許しを請います」とテドロス氏に対し多くの返信が寄せられました。この謝罪は台湾人になりました中国に拠点を置くアカウントの中国人ユーザーから寄せられており、フェイク(偽り)であると判明しました。



President Tsai strongly protests accusations that Taiwan is instigating racist attacks.

For years, Taiwan has been excluded from international organizations, and we know better than anyone else what it feels like to be discriminated against and isolated.

If Director-General Tedros could withstand pressure from China and come to Taiwan to see our efforts to fight COVID-19 for himself, he would see that the Taiwanese people are the true victims of unfair treatment.

@iingwen

台湾 蔡英文 中華民國 總統

9日、台湾外交部(外務省)の欧江安報道官は台湾が自分への中傷を行ってきたとWHOのテドロス事務局長が発信したとして「ありもしないデタラメな主張だ」と指摘、テドロス氏に発言の訂正と謝罪を要求しました。報道官は「テドロス氏は台湾をWHOから排除するだけではなく、台湾を誹謗中傷した」と非難し、政治的偏見を排除して中立の立ち位置に戻るよう求めました。

また、台湾では9日に蔡英文総統もフェイスブックで反論、「長年国際組織から排除されている台湾は誰よりも差別と孤立の味を知っている」とし、「テドロス事務局長に台湾に来てもらい、差別を受けつつも国際社会に貢献しようとして取り組んでいる姿を見てほしい」「WHOから締め出されても台湾は貢献することを諦めたことはありません」と発信しています。

台湾～21歳の学生のメッセージ

英国で伝染病を勉強する21歳の学生、林薇(リン・ヴィヴィ)さんが台湾の学生としてテドロス事務局長に謝罪を求めています。以下の日本語訳を見て頂ければ信条が痛いほど伝わります。



親愛なるテドロス博士、私はヴィヴィ・リン、英国で伝染病を学ぶ台湾の大学生です。

今日あなたについて聞きました。今世界で最も影響力のあるWHO指導者が記者会見で、台湾に対する事実に対する非難を行ったことに私は驚きと失望を禁じ得ません。

台湾と英国の多くの医療衛生NGOで活動している一人の学生として、台湾の外交官がかつてアフリカの人々に対して民族や文化、肌の色で否定的評価を下したことがない事はこの私が断言できます。

私は、現在ネット上であなたがWHO事務局長の職を辞任するよう多く署名が集まっていることを知っています。ですがそうした要求はあなたの民族や肌の色、あるいはアフリカの人々に対する差別に基づくものではありません。台湾はずっと国際社会における医療衛生へ貢献することに非常に努力してきました。私たちもまたこの世界的な伝染病との戦いにおいて世界と同じ立場に立つことをずっと望んでいます。

私たちがWHOから締め出されても台湾が自ら貢献することを諦めたことはありません。台湾は今回の CONVID-19(新型コロナウイルス感染症)の防疫において傑出した成果を上げており、それは世界が知るところです。

私たちに予想以上のリソースが出たときは、それを惜しみなく米州、欧州、アフリカの友邦、そして現在ウイルスの影響を受けているその他の国々と分かち合っています。(中略)

私は、健康はあらゆる人々に認められた基本的人権であると信じています。すべての人々の健康、すべてのヒトが締め出されない事はWHOが固く守るべき核心的な価値です。

あなたが一人の公衆衛生専門家としての信念と、事務局長を受任した時の誓いである「政治ではなく世界の人々の健康を第一とする」を忘れないでください。

世界はいま、この時代において最も厳しい健康の危機に瀕しています。そして台湾はすべての人々の健康を気に掛け、更に助けとなることを願い、今まさに助けています。

台湾は進歩的価値を信じる国家であり、台湾人は常にダイバーシティを尊び、それと共にあります。私たちはあなたの民族、文化、あるいは肌の色に基づいて疑問を呈したことはありません。

今ここに私と私が熱愛する国家と台湾の人々は、あなたが4月8日に行った事実に対する非難に関し、謝罪を求めます。ありがとうございました。

<https://www.youtube.com/watch?v=EKh6qiAGDfA&feature=youtu.be&fbclid=IwAR1YuZFGFNIJYCrLPGSQjyAjCNNhILMpZSWmL9gqi728gkuS2mle7950-fw> ←ユーチューブです、見てみて下さい!!

韓国

韓国の新型コロナウイルスに対する対応にはスゴイものがあります。

韓国では現在の感染者数延べ1万人余り、死者2百数十人で2月末には1日約900人の感染が確認されていました。その後減少傾向が続きこの数週間は1日1桁の10人未満です。

先般、新型コロナウイルス蔓延の中行われた総選挙文在寅政権の与党が過半数を獲得しました。この原因はPCR検査を徹底した封じ込めが圧勝に繋がったと言われていています。

選挙結果は別として、新型コロナウイルスの封じ込めはどのようにして行われたのでしょうか!?

検査体制)

3月31日、現在341ヶ所の国民安心病院と612ヶ所の選別診療所があります。これは2016年より感染症検査緊急導入制度を施行したもので、選別診療所には海外、大邱、慶尚北道地域への訪問、感染者と接触し発熱、咳、呼吸困難などの症状がある者を、接触がない者は国民安心病院で治療を受けることを奨励しています。

また、これ以外の検査にはドライブスルー検査やウォーキングスルー検査が実施されています。



罰金)

4月1日からは海外からすべての入国者を14日間隔離、海外からの入国者については症状がある場合は空港で検査を受け、症状がない場合には韓国政府や地方自治体を用意した臨時施設に移動し検査を受けなければなりません。検査の結果が出るまでの1日~2日間は施設に隔離され、結果が陽性である場合は病院に運ばれ入院・治療を受ける事になります。陰性と判断された者に対しても帰宅してから14日間の自己隔離装置が義務付けられ、海外からの入国者が規則を守らなかった場合には1年以下の懲役、または1,000万ウォン以下の罰金が科せられます。

感染者動向調査)

感染者のデータの一部は市民にも公開されています。

ソウル市のホームページには実名こそ記載されていませんが、感染者の立ち寄った飲食店の具体的な名前や場所、日時などが細かく公開されています。更には感染者が訪れた場所が100m以内にあると「感染者訪問地域から75mに接近、感染者が4月6日に訪れた地域です」などのメッセージを受けられるアプリなども普及しています。



さらに4月11日、自主隔離中に無断外出などの違反が発覚した場合、行動把握のために電子リストバンドを装着すると発表しました。強制的な装着は人権侵害との指摘もあり対象を限定し、本人の同意も得て行う方針です。

この電子リストバンドは「安心リストバンド」という名称でスマートフォンにダウンロードされたアプリとBluetoothで連動しています。

米国～WHOへの拠出金停止を宣言



1月22日、テドロス事務局長が緊急事態宣言を出さないと発表してから、同30日に緊急事態宣言が出されるまでの間、今の現実の武漢コロナウイルスの猛威を見ればどれだけ感染者が世界に散らばったか…火を見るよりも明らかです。

またWHOの緊急事態宣言に付き物の「当該国への渡航や交易を禁止する」という条件を外し、この宣言自体を骨抜きにしたばかりではなく「中国は新型肺炎の発生を抑制する中国の能力に自信を持っている」などと褒め称えているのです。

テドロス事務局長と中国習近平国家主席との関係はというと…

テドロス・アダノム・ゲブレイエソス事務局長(1965年生まれ)は元エチオピア保険相、外務大臣を務め、2017年にアフリカからの初めてのWHOの事務局長として選出されました。

元事務局長は香港出身のマーガレット・チャンでした。

エチオピアは一带一路の要衝の一つで、例えば鉄道建設などにおいて中国が最大の投資国(85%)となっています。中国の資金援助(借款)なしにエチオピアの国家運営は成り立たなくなっています。どうりで褒め称える訳ですね!

そんな中、テドロス事務局長の辞任を求める署名運動がインターネット上で広がり、4月末で賛同者が102万人を超えました。

米国のトランプ大統領がWHOへの拠出金を停止したのは何故か…公平であるべきWHOが余りに中国寄りの立場を取り、初期に世界への警告を出さなかったのがパンデミックに繋がり、世界中に新型コロナウイルスを蔓延させたからです。

トランプ大統領が拠出金を停止したのは当然です!! そもそもWHOは世界中の人々の健康を考える機関で政治的なことで動くべきではありません。メディアの一部には「トランプ大統領は初動対応が遅れたので責任をWHOに転嫁した」などと報道は中国寄りで中国を代弁するものではありません。

中国マスク外交

3月、ヨーロッパ南東部のバルカン半島にある小さな国セルビアの空港にチャーター機が降り立ちました。乗っていたのは中国の医療チームと20万枚の医療用マスクや人工呼吸器です。出迎えにはセルビアのブチッチ大統領が参じ、大統領は「困った時に助けてくれるのが真の友人だ、中国の支援は決して忘れない」と述べ中国を絶賛しました。

イタリアは今年2月以降に北部を中心に感染が拡大、病院は急増する重症患者で対応が追いつかず医療崩壊とも呼ばれる事態に陥り、そこに手を差し伸べたのが中国です。

中国は医療チームに加えマスクなどの不足している医療用品を送り、イタリアのディマイオ外相は「これこそ連帯と呼ぶものだ、我々は1人じゃない、助けてくれる人がいる」と、中国への信頼を隠しませんでした。



セルビア ブチッチ大統領



イタリアの様子

中国が欧州に接近を図るのは中国の巨大経済圏構想「一帯一路」との関係があります。

これに対し欧州各国は、中国は医療用マスクや防護服などを120カ国に援助したと強調しますが、中東欧への中国の浸透を警戒するEU(欧州連合)から懸念の声が上がっています。

3月31日、中国共産党メディアの環球時報(英語版)はコラムを掲載しました。「米国は世界の災難を前に他国を助けられない」と主張し「感染対策で段階的な勝利を収めた中国は100カ国以上に人工呼吸器やマスクを送っている」と強調、習近平指導部がマスク外交に躍起になるのは初動の対応が遅れ国内外にウイルスを拡散させたとの批判をかわす思惑があるのではないのでしょうか!? 中国が米欧の民主主義モデルより優れているとアピールする狙いが透けて見えます。

しかし、よくよく考えてみればマッチポンプ…要するに火をつけて(コロナウイルスを拡散させて)火を消す(マスクや医療用具の援助)を行っているのです。

中国の隠蔽

新型コロナウイルスで中国では一体何人が死亡したのでしょうか…知りたいところです。

中国の公式発表によると4月16日時点での累計症例数は82,692件、死者数は4,632人ですが、こんなこと信じられますか!?

中国国内での携帯解約件数は2,100万台、2月末では1,400万台、3月末では700万台と解約が増加しています。会社の倒産や複数台持っている人の解約もありますが、これら全てが死亡しているとするのは早計です。しかし、10%としても210万人、5%としても105万人、1%としても21,000人です。全てがコロナとは考えられませんが、武漢ではピーク時の1ヶ月間に28,000人が火葬されたといえます。

いずれにしても中国の公式発表は中国人のみではなく、世界の誰もが信じられることではありません。

中国国内では…追悼式典

4月4日、各地で新型コロナウイルスによる犠牲者の追悼式典が行われました。習近平国家主席は中国共産党政府最高幹部と共に最高指導部が居住・執務する中南海で黙祷を捧げました。この日は中国で祖先を供養する伝統的な清明節に当たります。今年は感染予防で外出の禁止措置が取



られましたが、新型肺炎の死者の葬儀が出来ない為の鬱憤晴らしか…急遽追悼集会を開催したのではないかと考えられます。この全国規模の追悼集会は4月8日に武漢の封鎖を解除する予定であり、4日の追悼集会では習近平指導部が「疫病の戦争に勝利した」と誇示したいのでしょうか。

緊急拡大会議開催の建議書

習近平体制が勝利したとは手放しで言い難い…中国共産党の改革派人士が発起人となり、習氏の約8年間の最高指導者としての政治的評価を巡って、党中央政治局拡大会議を開催するよう求める建議書が出回っています。

この建議書というのは「党政治局の緊急拡大会議の即時開催を求める建議」と題したもので、会議開催の目的は習氏の党総書記としての功績と失政を明確にして、中国の外交や経済、台湾、香港政策など広範な問題について今後の基本方針を再度確立すべきというものです。

習氏は新型コロナウイルスの感染拡大に関して「情報を隠蔽したことで疫病を制御不能な状態にまで蔓延させた」などと述べて、最高指導者としての習氏に極めて批判的な内容となっています。

政治局拡大会議の議長団として習氏の政敵とされる李克強首相や、李氏と同様の習氏が中心の太子党閥(高級幹部子弟)と対立する中国共産主義青年団閥の有力幹部である汪洋副首相が名を連ねており、建議そのものが党内の反対派色が強いです。日本であればそんなものかと考えるかも知れませんが、中国の政治の権力闘争は相当なもので、そんな中で反対を表明することさえ中々出来ないことです。共産党内でも習近平の独裁体制への反発や不満が相当なものである事が伺えます。

まとめ

何回も書きますが、新型コロナウイルスは中国湖北省武漢が起源である事は間違いのない事実です。このコロナウイルスによるパンデミックは国際政治上最悪であり「世界の敵」と認定され兼ねません。コロナウイルスによる世界各国の経済や社会的ダメージは天文学的な数字となり、各国の国民や著名人の命を奪い、感染の恐怖やロックダウンなど多くの問題を惹起しました。

米国のトランプ大統領、ドイツのメルケル首相でさえ情報の公開を、豪のモリソン首相、英国のラップ外相など世界の主とする国々が連帯して国際調査を中国に要求する動きも出てきています。中国はこれに激怒し、豪に対し将来中国人観光客やワインの不買などをチラつかせて恫喝しています。

習近平政権は現在「南シナ海問題」「一带一路」「5G」など多くの問題を切り抜け成長の一途を辿り、覇権主義を成功させるかのように思えましたが1月～3月期はマイナス9%になるとゴールドマンが予想しています。これは中国が1992年社会主義経済に移行されて以降初めての事です。

中国は共産党の統治が如何に豊かにしていたか、唯一無二の政治であると主張してきました。実際過去40年で経済を成長させてきましたが、比較的若い年代は中国の明るい未来と共産党体制に満足してきましたが、中国の体制が新型コロナウイルスの発生と拡大を隠蔽させてパンデミックに陥らせた事は習政権のスローガンである「中国夢」にマイナスに働いています。

1月27日、李克強首相が武漢を訪問、2月10日には習近平国家主席が北京市内の病院を完全な防護服で訪問、1月～2月時点で習近平国家主席がコロナ対策を李克強首相に丸投げしていました。失敗する可能性が高いかと思われたコロナウイルス問題の解決に自分に関わることで責任を追うことから逃げたのではないか…!? 良いことは自分、悪い事は他人に…では人は信頼しません。風向きが変わり日頃の強権的な習近平に対しての不満が大きなものになっているように見えます。

中国に対する世界の目は厳しく確信的になったのかも知れない、コロナウイルスの発生原因は米国軍関係者と嘘をつく、発生した事を隠蔽、発生地は閉鎖するのに国と国は閉鎖の必要がないという、自国が少し良くなると他国に援助し見返りを求め、少し国力がついたからと偉そうにする…従来黄色人種は白人から差別されてきました、これは大東亜戦争(第2次世界大戦)でも強く意識されてきましたが、今回のコロナウイルスでも同様の事が起こっています。例えばイタリアのサンタチェチーリア国立音楽院では「すべての東京人のレッスン中止」など。やっぱり中国人は「腹黒く」「厚かましい」まるで「厚黒学(ホウヘイシュエ)」を地でいっている世界と思われているのでは!?